



じょうぶな子・よく考える子・支え合う子

『大平中央小学校だより』



<目指す学校像> -ともに学び合い、ともに支え合う、元気一杯の学校-
 栃木市立大平中央小学校 令和5年10月号 (文責 校長 関口 俊之)

運動会開催に向けて始動！



長く続いた残暑が収まり、いよいよ秋本番を迎えました。学校では、観察園のクヌギがまん丸のどんぐりをたくさん落とし、ふっくらとしたコキアが少しずつ色付き始めています。今月の14日(土)には、運動会の開催を予定しています。授業や業間活動において、全校や各学年で練習に取り組み始めたところです。水分補給などの体調管理を十分に行いながら、効率的に練習を進め、児童一人一人が自信をもって本番を迎えられるように、全教職員が、「チーム大平中央小」として、指導・支援に努めて参ります。



コロナ禍の対応を生かして

5月に新型コロナウイルス感染症が第5類扱いとなりました。しかし、完全に収まったわけではなく、インフルエンザと共に、感染拡大が懸念されています。学校では、手洗いやうがい、教室の換気などの予防対策を講じながら、通常の教育活動を取り戻しているところです。そのような中で、運動会の開催方法については、過剰な練習時間の削減や、児童や教職員、保護者の負担軽減などの課題解決に対する検討の余地があり、今回は、全校児童による半日開催を継続試行することになりました。さらに、来年度からは、各分野における地域移行等の流れを受けて、週休日ではなく、平日の開催も考えているところです。運動会の開催方法等について、ご意見をお聞かせください。



市教育委員学校訪問 9月21日(木)

午前中、教育委員3名と市教委教育総務課職員にご来校いただき、本校の教育活動の様子を参観していただいたり、学校経営や安全管理の取り組みについて理解していただいたりしました。どの学級も、児童と教員が穏やかな雰囲気の中で学習に取り組んでいることや、経営方針や目指す子ども像が明確であり、達成のための具体策を講じていること、家庭や地域ボランティア、関係諸機関との連携・協力体制などを認めていただきました。その中で、発達支援や言語通級指導、外国籍児童・生徒への日本語指導などにおける、個のニーズに応じた指導の充実に向けた人員不足解消方法を協議しました。



※ カラー版は、大平中央小学校のホームページでご覧ください。(いいねのクリックを！)
 「大平中央小学校」 アドレス <https://tm2.tcn.ed.jp/o-chuou/>



~~~~ 9月の学校教育活動の様子 ~~~~

< 5年稲刈り 11日(月) >

「あらい水と緑の会」の方々のご指導とご協力を得て、5月に田植えをした後、大きく育って稲穂を付けた「ミルキークイーン」の稲刈り作業を行いました。初めて手にする稲刈り鎌の使い方が分からず、恐る恐る根元を刈っていた子どもたちでしたが、要領を得るとあっという間に刈り終え、ひもで縛った稲の束をはぜかけして干しました。お世話になりました。



< 児童会代表委員会 19日(火) >

昼休みに、音楽室で開催されました。議題は、「運動会スローガンに入れる言葉の選定」でした。スムーズな進行の下、少人数で話し合ったり、個人の意見を発表し合ったりしながら、活用するとよい言葉を絞っていくことができました。この後、計画委員がスローガンにまとめる予定です。



< 上学年読み聞かせ 20日(水) >

校内読書週間の事業の一つとして、朝の活動の時間に、ボランティアの皆さんによる読み聞かせが行われました。読み方をいろいろと工夫していただき、子どもたちも集中して聞き入っていました。



< 3年校外学習 21日(木) >

市バスを利用して、盤峰園と大中寺に出掛けました。盤峰園では、ぶどう生産の説明を聞いたり、ぶどう狩りを体験したりしました。大中寺では、お弁当を食べた後、グループごとに七不思議を探しました。大平地域の名産物や史跡を体験を通してしっかりと学ぶことができました。



< 5年臨海自然教室 25・26日(月・火) >

とちぎ海浜自然の家に1泊して、たくさんの活動を体験してきました。一日目は、スコアオリエンテーリングや砂の造形、砂浜活動やナイトハイク、二日目は、塩作り体験活動に取り組みました。活動や宿泊を通して、自主的行動力や友情を高めることができました。



< 学校運営協議会② 27日(水) >

8名の委員様にご来校いただき、授業を参観したり、学校経営の状況を理解していただいたりしました。生き生きと学習している子どもたちや創意工夫をしている教職員の称賛をいただきました。



< 4年現地学習 29日(金) >

日光方面に出掛けて、栃木県にある国立公園(戦場ヶ原・中禅寺湖・華厳滝)や世界文化遺産(日光東照宮)を見学してきました。県民として伝統と誇りを実感することができました。

